

製品名: Sumo 1 (13R11) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe18437**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IF-P
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,IF-P 1:100-1:200
分子量	12kDa

抗原情報

遺伝子名	SUMO1
別名	DAP-1; GMP1; OFC10; PIC1; SENP2; SMT3; SMT3C; SMT3H3; SUMO1;UBL1;
遺伝子 ID	7341.0
SwissProt ID	P63165
免疫原	ヒト Sumo 1 の合成ペプチド

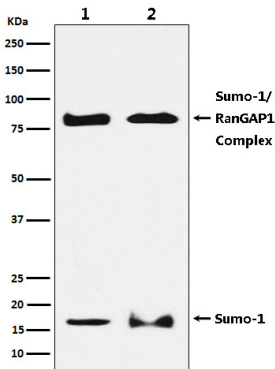
背景

SUMO1 ユビキチン様タンパク質で、モノマーとして標的リジンに共有結合します。タンパク質分解には関与していないようですが、分解プロセスにおいてユビキチンの拮抗薬として機能する可能性があります。核輸送、DNA 複製と修復、有糸分裂、シグナル伝達など、多くの細胞プロセスで役割を果たします。ユビキチン様タンパク質で、モノマーまたはリジン結合ポリマーとしてタンパク質に共有結合します。イソペプチド結合を介した基質への共有結合には、E1 複合体 SAE1-SAE2 による事前活性化と E2 酵素 UBE2I への結合が必要であり、PIAS1-4、RANBP2、CBX4 などの E3 リガーゼによって促進されます。タンパク質のリジン残基に対するこの翻訳後修飾は、核輸送、DNA 複製と修復、有糸分裂、シグナル伝達など、多くの細胞プロセスで重要な役割を果たします。例えば、RANGAP1 を核膜孔複合体タンパク質 RANBP2 に標的化することに関与する。電位依存性カリウムチャンネル KCNB1 に共有結合し、KCNB1 のゲーティング特性を調節する (PubMed:19223394)。SUMO1 の重合鎖はポリユビキチン化を受けやすく、これは修飾タンパク質のプロテアソーム分解のシグナルとして機能する。また、口蓋の発達に関与する遺伝子ネットワークを制御する可能性もある。ZFHX3 に共有結合している (PubMed:24651376)。

研究分野

細胞生物学

画像データ



(1) HeLa 細胞溶解物、(2) NIH/3T3 細胞溶解物における SUMO1 発現のウエスタンブロット解析。